

事業コード	H18-建-新-9		区 分	国庫補助 県単独
事業名	雪寒道路整備事業		部局課室名	建設交通部 道路課
事業種別	防雪事業		班 名	交通安全施設班 (tel) 018-860-2494
路線名等	国道341号		担当課長名	課長 檜森 悦朗
箇所名	仙北市田沢湖玉川		担当者名	主幹兼班長 貝田 裕
総合計画との関連	政策コード	C	政 策 名	快適で安全な生活を支える環境づくり
	施策コード	01	施 策 名	四季を通じて快適な生活環境の確保
	指標コード	04	施策目標(指標)名	消・融雪施設等整備率

1. 事業の概要

事業期間	H19 ~ H22 (4年)		総事業費	5.0億円	国庫補助率	6/10	
事業規模	施工延長 L = 550m 雪崩予防柵設置 398基(4工区)						
事業の立案に至る背景	<p>国道341号は、鹿角市を起点とし仙北市、大仙市を経由し由利本荘市に至る幹線道路である。沿線には田沢湖、玉川・乳頭温泉郷等の観光地があり、観光道路として機能を有する路線である。</p> <p>当該区間は、毎年の冬期間には小規模雪崩が発生しており、除雪で対応してきたが、平成18年2月に大規模雪崩が発生し道路を閉塞したため、玉川温泉郷の滞在者が3日間、足止めされる事態が発生した。そのため、緊急的に滞在客のバス輸送や雪に亀裂の入った危険な斜面の雪庇除去等を実施している。</p> <p>今後の雪崩災害に対する冬季交通確保のため、雪崩予防整備として新規箇所要望するものである。</p>						
事業目的	<p>雪崩予防柵の整備により、雪崩発生を防ぎ、道路の防災対策を図る。</p> <p>冬期間における安全な交通環境の確保を図る。</p>						
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)			全 体	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度以降
	事業費		500,000	70,000	90,000	230,000	110,000
	経費内訳	工事費	445,000	50,000	75,000	220,000	100,000
		用補費	5,000		5,000		
		その他	50,000	20,000	10,000	10,000	10,000
	財源内訳	国庫補助	300,000	36,000	54,000	138,000	72,000
		県 債	90,000	15,300	16,200	41,400	17,100
その他							
一般財源		110,000	18,700	19,800	50,600	20,900	
事業内容		・雪崩予防柵 (全398基)	・詳細設計 ・雪崩予防柵 (52基)	・雪崩予防柵 (75基) ・用地補償	・雪崩防止柵 (154基)	・雪崩防止柵 (114基)	
調査経緯	当該箇所は、平成8年度の防災点検箇所として雪崩発生の危険箇所となっており、平成11年度パークアンドライド除雪実施後は、毎年冬期間定期的に道路パトロールを実施しており、小規模であるが雪崩が発生している箇所として、現地調査を実施している。						
上位計画での位置付け	あきた21総合計画「第3期実施計画」の施策「四季を通じて快適な生活環境の確保」を支援する事業						
関連プロジェクト等	国道341号において、平成11年度から田沢湖畔から新玉川温泉まで、パークアンドライド除雪を実施している。						
事業を取り巻く情勢の変化	当該路線は田沢湖方面から玉川温泉へ直接アクセスする道路であるが、平成11年度より冬期間は玉川温泉まで除雪を行い通行可能となっている。それ以降、玉川温泉の入り込み客は年々増加している。 昨年、同管内の温泉施設で雪崩により事故が発生しており、雪崩予防対策が急務となっている。						
事業効率把握の手法	指標名	雪崩要対策箇所					
	指標式	対策箇所 / 要対策課所					
	指標の種類	成果指標	業績指標	低減指標の有無	有 無		
	目標値 a	94 箇所		データ等の出典	平成8年度防災点検		
	達成値 b	36 箇所					
達成率 b/a	38 %		把握の時期	平成18年 3月			

2. 所管課の1次評価

観 点	評 価 の 内 容 (特 記 事 項)	評 価 点
必 要 性	当該路線は、田沢湖や玉川温泉郷等の観光道路として機能を有しているほか、玉川温泉郷へ直接アクセスしているため、県内外にかかわらず観光者が多く利用する。また、自然斜面等が多く存在し、危険箇所の解消等ニーズは高い。 玉川温泉郷の冬期間利用客数は年々増加傾向にあり、仙北市を始め周辺観光施設への経済効果が大きいことから、冬期交通の安全確保が必要である。	27 点
緊 急 性	当該路線は、雪寒指定路線になっており冬期交通上重要路線であるとともに、冬期間の迂回路、代替路線が無い。 当該路線は、雪崩要対策箇所に該当しており、毎年小規模の崩落も発生している。また平成18年2月には大規模な雪崩が発生したことにより、3日間全面通行止めとなり玉川温泉滞在客319人が足止めされたことから、雪崩予防の整備は緊急を要する。	13 点
有 効 性	当該路線における雪崩対策効果が向上する事業であり、通行止による地元観光への悪影響もなくなり、施策目標への貢献度は高い。また、道路利用者の安全性が確保される。 当該路線は田沢湖方面から玉川温泉へ直接アクセスする道路であり、雪崩が予防され通行の安全が確保された場合の仙北市を始め地元に対する経済効果は高い。	19 点
効 率 性	現在、除雪作業時に、雪崩箇所を併せて除雪を実施していることから、作業の非効率及び除雪費の増を招いており、雪崩予防により効率性向上及びコスト縮減が図れる。 当該路線は、カーブ区間が多い上見通しが悪く、雪崩が発生した際に事故等が懸念されるため、雪崩が予防されることから安全性が向上する。 施工条件は厳しいため、設計方法や施工方法の効率化等を検討しコスト縮減を図る。	13 点
熟 度	当該路線は、毎年実施している冬期試験除雪調整会議時に、地元(仙北市を始め、田沢湖観光協会、玉川温泉郷等)からバスの増便を含めた冬期交通の安全確保等の要望がだされており、地元からの要望が強くなる。さらに、平成18年2月の大規模な雪崩発生により、当該路線の危険に対する地元意識も高くなっている。 当該地域は国立公園に隣接するため、周辺環境へ配慮した設計・施工計画を立案する。	13 点
判 定	ランク ()	85 点
	全観点で高い点数となっており、安全で安心な道路空間の確保や将来的な経済波及効果面でも有用な箇所であり、実施すべきと考える。	
総 合 評 価	選定 改善して選定 保留 各観点の評価結果から、事業箇所としての優先度が高く事業を実施すべきと考える。	

3. 総合政策課長の2次評価

総合評価	選定 改善して選定 保留
	今冬の豪雪により雪崩が発生し、当該路線箇所が閉鎖され観光客が足止めされる事態が発生している。 本県が重視する冬季観光の拠点の一つとして、玉川温泉郷は年々県外観光客が伸びて来ている地域であり、冬期交通の安全確保を図る本事業の実施は妥当と判断される。なお、早期安全を確保するため、事業期間の短縮等を検討すること。

4. 財政課長意見

意見内容	選定 改善して選定 保留
	当該路線は、玉川温泉郷への唯一の観光道路であり、今後も今冬と同様の雪崩が発生する可能性が高いことから、事業の実施は妥当と考える。 なお、事業の実施にあたっては、除雪やバス輸送等のソフト面と調整を図ること。

5. 最終評価(新規箇所選定会議)

総合評価	選定 改善して選定 保留
	事業の実施は妥当である。 なお、工事完成までの間、当該区間の冬季通行については、通行止めも視野に入れた検討を行い、安全確保に万全を期すこと。

6. 評価結果の当該事業への反映状況等(対応方針)

工事完成までの間バス通行を行う際、護送船団方式を徹底し、気象状況等により異常が予想される場合のパトロールを強化し、危険が予想された場合は通行止等の交通規制を行い、危険除去作業を実施し安全対策を実施する。

7. 公共事業評価専門委員会意見

県の「対応方針」を可とする。

評価種別 新規箇所評価

事業コード(H18-建-新-9)

適用基準名 防雪事業(スノーシェッド、防雪柵)

箇所名 (仙北市田沢湖玉川)

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要	
必要性	事業の必要性					
	県関与の必要性	雪寒指定路線である 雪寒指定路線でない	5 0	5		
	県民ニーズ	一般県民を対象とした調査でニーズが高い 一般県民を対象とした調査でニーズを把握 一般県民を対象とした調査を行っていない	5 3 0	5		
	社会情勢変化による需要変化	増大している 特に変化はない 低下している	5 3 0	5		
	道路の現状 ・H8防災点検箇所 ・現道の混雑度 1.0 ・現道の旅行速度 30km/h ・事故、災害が発生(過去5箇年) ・バス路線	5件該当 4件該当 3件該当 2件該当 1件該当 該当項目なし	15 12 9 6 3 0	12		
	計		30	27		
	緊急性	事業の緊急性				
		緊急輸送道路又は緊急確保路線	指定路線である 指定路線を補充する 指定路線と関連がない	5 3 0	3	
		事業未実施の影響	周辺への影響等が大きい 周辺への影響等が小さい	5 1	5	
		他事業との関連	関連事業との調整で緊急性が高い 関連事業との調整で緊急性が低い	5 1	5	
計			15	13		
有効性	期待される具体的効果					
	緊急医療施設へのアクセス	直接アクセスする 間接的に補充する アクセスへの貢献は小さい	5 3 1	5		
	高速IC、空港、港湾等へのアクセス	直接アクセスする 間接的に補充する アクセスへの貢献は小さい	5 3 1	1		
	冬期観光施設へのアクセス	直接アクセスする 間接的に補充する アクセスへの貢献は小さい	5 3 1	5		
	上位計画への貢献度					
	あきた21総合計画	施策目標の中核事業であり貢献度が高い 施策目標に間接的に貢献する 施策目標とは別のその他関連事業である	5 3 0	5		
	市町村合併関連	市町村合併の推進に貢献する 市町村合併の推進には特に影響しない 施策目標とは別のその他関連事業である	5 3 0	3		
	計		25	19		
効率性	事業実施コストの縮減					
	該当項目数	有り 無し	5 0	5		
	交通量	1,000台/日以上 500台/日以上～1,000台/日未満 300台/日以上～500台/日未満 300台/日未満	10 8 6 0	8		
	計		15	13		
	熟度	地元との合意形成の状況				
地域住民の事業実施の意向		意向が強く、要件の同意をクリアしている 意向が強く、要件の同意を概ね得ている 意向が一部で強く、要件の同意を得ていない	5 3 1	5		
市町村の参画		積極的に参画し、要望書等の提出がある 参画している 参画していない	5 3 0	3		
環境との調和						
環境保全への配慮		十分に配慮されている 配慮が不十分で、検討している 特に配慮はない	5 3 0	5		
計		15	13			
合計			100	85		

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
	優先度がかなり高い	80点以上		
	優先度が高い	60点以上～80点未満		
	優先度が低い	60点未満		